

各販売会社  
サービス部署長殿

日産・自動車大学校  
学長 本廣 好枝

## 2024年度入社 日産校卒業生アンケート結果報告 及び 今後の取り組み

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、弊校の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、昨年末となります2024年12月より大変お忙しい中、日産校卒業生アンケートにご協力いただき、厚く御礼申し上げます。  
ご回答頂きましたアンケート結果を取りまとめましたので、ご報告申し上げます。

今回、ご回答頂きましたアンケートの結果より、日産校の卒業生が評価頂いている点、及び今後の課題などを確認いたしました。  
私共と致しましては、本課題を基に、今後も教育内容の強化・改善を図って参ります。  
日産校は「より高い質の人財を、より多く日産グループへ」の使命のもとに、引き続き教育の質の向上に尽力して参ります。  
今後とも、ご指導ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

敬具

### 1. アンケート実施概要

- (1) 実施 : 2024年12月14日～2025年1月16日  
(2) 対象 : 2024年4月入社 日産校 卒業生(328名)が入社した61社の教育ご担当者様、卒業生ご本人に対して実施。  
(3) 回収率

	教育担当	卒業生
アンケート配付数	328	328
回収数	298	277
回収率 (昨年度)	90.9% (87.6%)	84.5% (83.3%)

### 2. 本件問い合わせ先

日産・自動車大学校 教育企画部 須田 浩之(すだ ひろゆき)  
TEL: 050-3751-3154  
E-mail: hiro-suda@mail.nissan.co.jp

以上

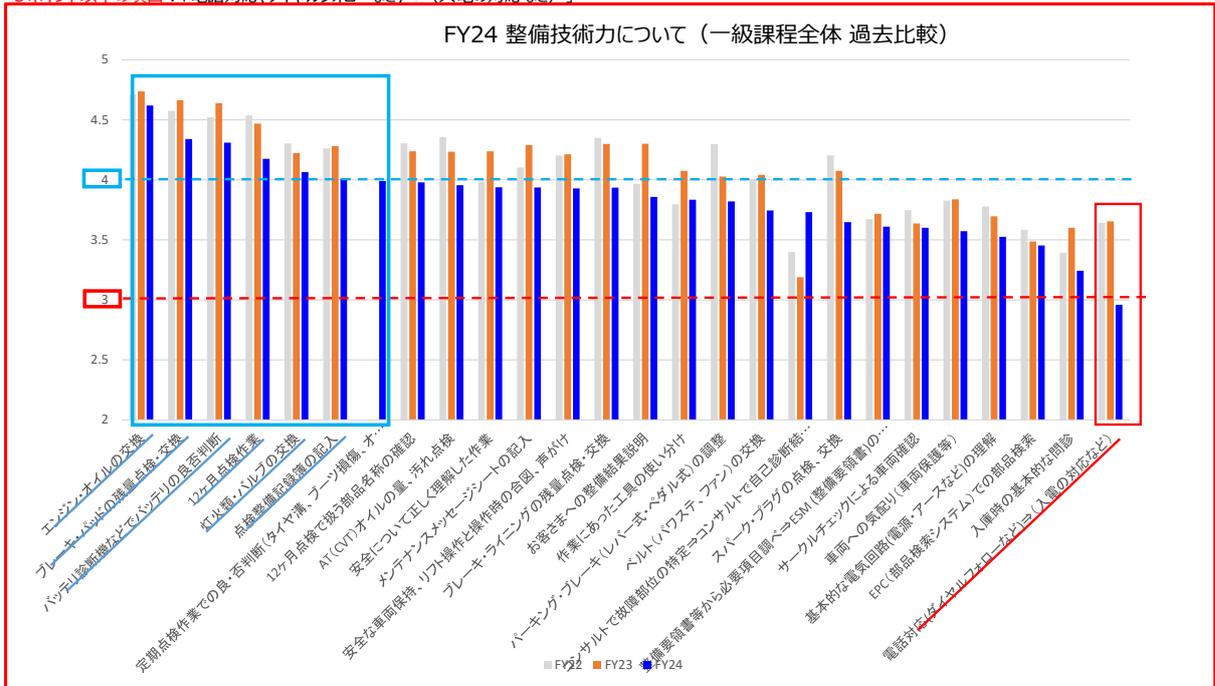
## 1. 整備技術力について(1級課程 5校全体)の結果と総評

### 1) 結果「整備技術力」

4ポイント以上の項目：6項目（昨年度は17項目）

「エンジンオイルの交換」「ブレーキパッドの残量点検交換」「バッテリー診断機などでバッテリーの良否判断」「12ヶ月点検作業」「灯火類バルブの交換」「点検整備記録簿の記入」

3ポイント以下の項目：「電話対応(ダイヤルフォローなど)⇒(入電の対応など)」



### 2) 総評「整備技術力」

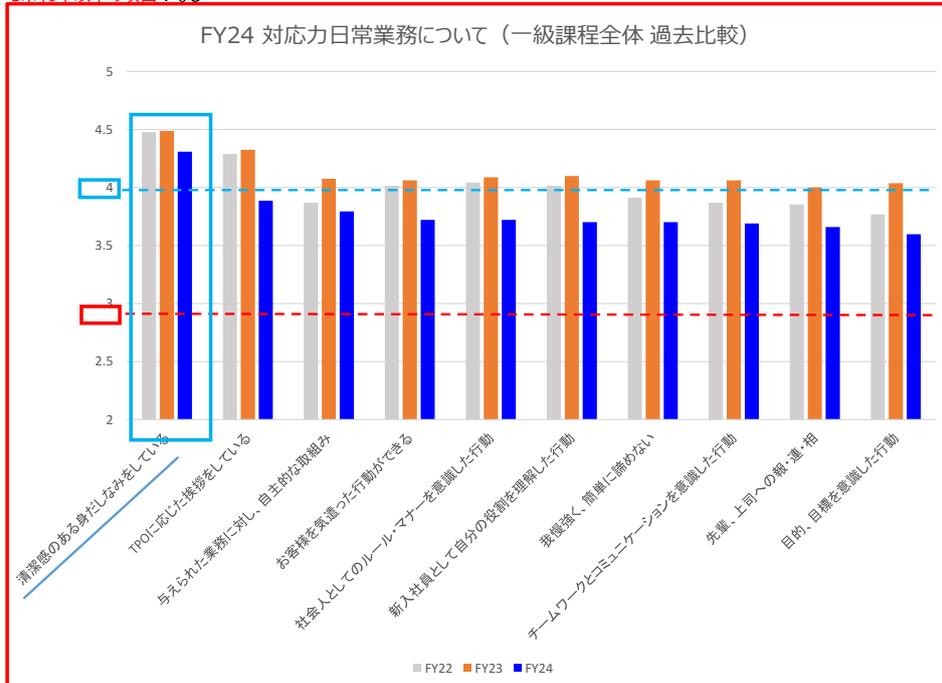
- ・「オイル交換」「ブレーキパッド交換」「バッテリー診断機などでバッテリーの良否判断」など基本的な整備作業は、引き続き 4ポイント以上を継続している。
- ・「コンサルトで故障部位の特定⇒コンサルトで自己診断結果、フリーズフレームデータを表示できる」では、+0.54と大幅に改善した。
- ・ほとんどの項目が昨年、一昨年より低い評価となってしまった。要因を分析し改善して行く。
- ・2級課程の卒業生との差が僅差となっている。1級課程の卒業生として違いを出せるよう、授業内・カリキュラムでの対応（育成）を継続する。

## 2. 対応力・日常業務について(1級課程 5校全体)の結果と総評

### 1) 結果「対応力日常業務」

4ポイント以上の項目：「清潔感のある身だしなみをしている」

3ポイント以下の項目：なし



### 2) 総評「対応力日常業務」

- ・対応力日常業務についても、全項目で低下してしまった。
- ・新型コロナウイルス感染症により影響を受けた学年であり、育成が難しかった。
- ・今後、学内でのインターンシップや卒業研究・成果発表などの機会を通じ、自主性・主体性の育成を更に強化していきたい。

1. 整備技術力について(2級課程 5校全体)の結果と総評

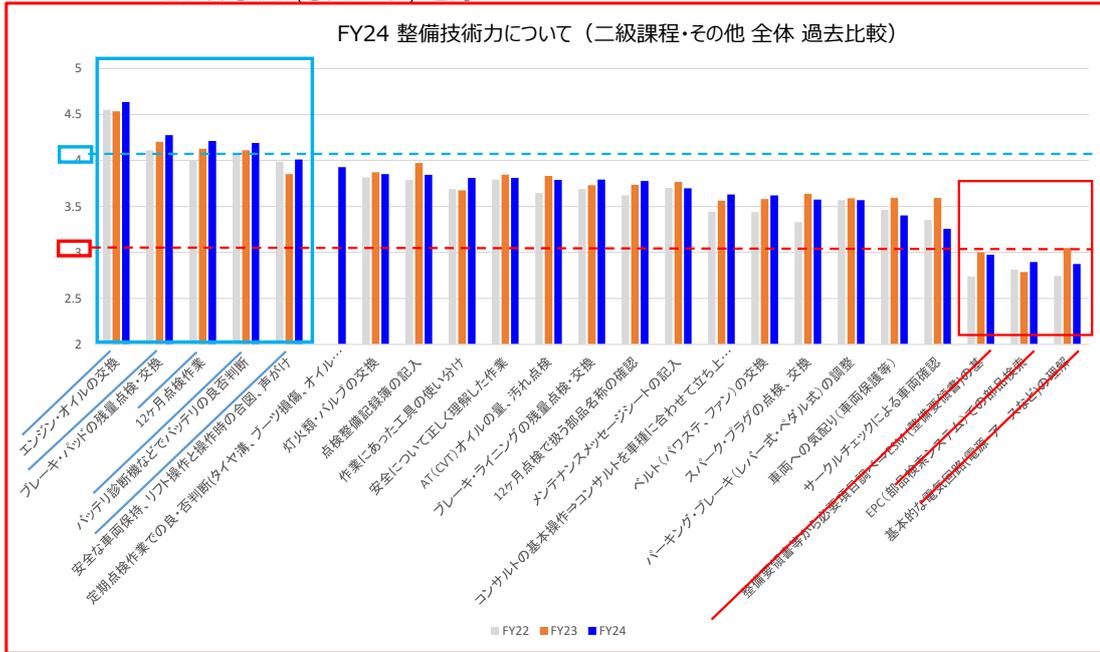
1) 結果-「整備技術力」

4ポイント以上の項目：5項目(昨年度4項目)

「エンジン・オイルの交換」「ブレーキ・パッドの残量点検・交換」「12ヶ月点検作業」  
「バッテリー診断機でのバッテリーの良否判断」「安全な車両保持、リフト操作と操作時の合図、声がけ」

3ポイント以下の項目：3項目(昨年度と同項目数)

「整備要領書等から必要項目調べ⇒ESM(整備要領書)の基本的な取扱い・操作」  
「コンサルト(外部診断器：OBD)で故障部位の特定」  
「基本的な電気回路(電源・アースなど)の理解」



2) 総評「整備技術力」

- ・「オイル交換」「ブレーキパッド点検・交換」「12ヶ月点検作業」「バッテリー点検」など基本的な整備作業は、引き続き4ポイント以上の評価であった。
- ・全体としては上がった項目、下がった項目があり平均ポイントは、昨年度と同ポイント(全体平均3.71)となった。
- ・「車両への気配り(車両保護等)」「サークルチェックによる車両確認」の項目が大幅に低下しており、授業内での実施状況を再確認する。
- ・3ポイントを下回った項目は、例年評価の低い項目ではあるが、特に「EPCでの部品検索」「コンサルトでの診断」「理論的に順序立てた故障診断」の3項目で、EPCでの部品検索が上昇しているが、まだ低評価のため継続して授業内の育成カリキュラムの習熟度を上げていきたい。

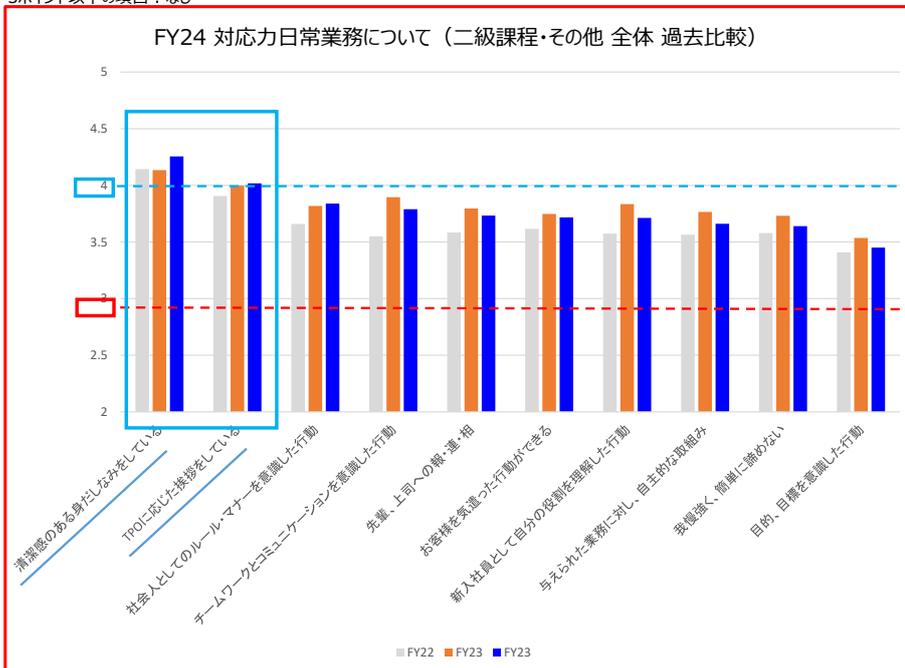
2. 対応力・日常業務について(1級課程 5校全体)の結果と総評

1) 結果-「対応力日常業務」

4ポイント以上の項目：1項目

「清潔感のある身だしなみをしている」

3ポイント以下の項目：なし



2) 総評「対応力日常業務」

- ・「清潔感のある身だしなみ」の項目は上昇しており改善の結果が出ている。
- ・さらなる上昇を目指し、動機づけ・意識づけを適宜行いながら育成を図りたい。
- ・上司・同僚の方とのコミュニケーションや、新入社員としての自分の役割のりかき等、学校内での指導や意識付けが難しい内容であるが、引き続き工夫をし指導を続けていきたい。